

令和3年度第2回加西市立図書館協議会議事録

日 時 令和4年3月15日（火） 15:00～17:00

場 所 アスティアかさい3階 集会室

出席者 委員10名：笹倉剛、松本孝美、松尾弥生、衣笠朋子、市浦央子、志方正典、
柳良典、大崎あすか、吉田香代子、井芹明美

教委・図書館3名：民輪教育長、藤川館長、伊藤主幹

欠席者 なし

1 開会 伊藤主幹が開会を伝えた。（15:00）

2 あいさつ

(1) 会長あいさつ

昔から戦争になると一番先に攻められるのは図書館である。図書館が一番民主主義が守られるところ、図書館が有料化になると戦争が起こると言われている。それだけ図書館は大事なところである。ウクライナは現在図書館どころではない。図書館は住民の癒しの場であり、心を磨いたりする場である。現在図書館は、課題解決型の図書館と言われている。地域の農業、産業、企業、子育て、老後の楽しみ、これらのことを新しく提案していく図書館として、本日たくさんの意見が出ればいいなと思う。

(2) 教育長あいさつ

私が教育長に着任してから1年と8ヶ月が過ぎ、この間の教育委員会の動きを総体的に見ると、まず最も難題である学校の在り方に関して、昨年10月に「加西市未来の学校構想検討委員会」を立ち上げることができた。現在、加西市3月定例議会開催中だが、できれば加西市議会のHPから、インターネット配信で、本会議の一般質問の録画中継をご覧いただき、市長、教育長の考えを聞いてほしい。

本年度は、誰一人取り残すことのない21世紀の新しい教育を目指すべく、「STEAM教育」を推進し始めることができた。義務教育では、全国でも最先端の試みだと思う。

次に食育の観点から、加西市の小中学校の給食費の全面無償化が決まり、より地産地消の給食が可能となり、新鮮で美味しい給食に近づけるのではないかと考えている。もうすぐ、市内のあちこちの畑に、学校給食ファームの旗もひらめくようになる。

10月からは、0～2歳児の保育料を無償化する。これで、0～5歳の保育料は全て無料になり、「子育てに優しい教育のまち加西市」の実現に一步近づく。

また、これは教育委員会の主導ではないが、加西市の男女共同参画とジェンダーに関する条例が3月議会に上程された。私は就任以来、ジェンダーイクオリティを言い続けてきた。ちょっと無理かもと思う事案も、方向を間違えず、粘り強く提案し、ここぞというチャンスを逃さずに行動すれば、固い門も開く。今がその時期だと思う。

私は「図書館は、市内で最もSTEAMな館」だと思っている。STEAMの中でもことに大切なのはA、リベラルアーツだが、これは、単なる「一般教養」のことではなくて、古代ギリシ

ア・ローマ時代の「自由7科」(文法、修辭、弁証、算術、幾何、天文、音楽)に起源を持っている。平たくいえば、創造性を身につけて、自由に生きるための学問がリベラルアーツの起源であった。「リベラルアーツ」は、つまり人間を自由にする技ということである。

図書館は、リベラルアーツの拠点である。今日も図書館職員が職員用の掲示板で「人口減少に打ち克つヒント」というテーマでタイムリーな書籍を紹介し、市の職員を図書館に誘っていた。図書館、真の勇気を持って、良いと思うこと、どんどんやってほしい。

3 報告・議事事項

伊藤主幹から、以後の議事進行を笹倉会長に依頼した。

(1) 令和3年度図書館利用状況と蔵書点検結果について(藤川館長説明)

委員:マイナンバーカードの図書館利用を開始されたが、従来の図書館カードはいずれ廃止になるのか。

事務局:いいえ、廃止にはなりません。図書館カードの更新の際に使用する。

委員:図書館内中央に「今日は何の日」の展示コーナーを設けてある。とてもいいことだと思う。給食についても特集を組めば、市の取組について興味を持ってもらえる。先日、三木市で食の安全を考える映画会に参加した。健康を考え、地産地消を利用し給食に有機食品を使おうという主旨であった。興味の窓口はこの展示コーナーを使ってほしい。

委員:近隣の図書館にも行くのだが、そこでは、昔の絵本が表(開架)に出ている。図書館スタッフの目線が生きている。本の取捨選択は難しい。子どもは派手な色合いの新しい本に目が行ってしまう。地味ではあるが、昔からの良い本も子どもに見てほしい。

委員:図書館学では図書の構成比率を中核になる本10、将来中核になるだろうなどと思う本を3、新刊を1の比率で揃える。丹波市立中央図書館では、子ども達に読ませたいと思う本を複本で5冊配架している。通常であれば本の面出し(表紙見せ)は1冊であるがこの図書館は5冊ドーンと面出しをしている。子どもに読ませたい本の姿勢がよくわかる。

委員:図書館資料の貸出状況をグラフで示してもらいよくわかった。加西市立図書館では毎年8千冊~1万冊購入しているようだが、図書を購入する場合の基準はあるのか。

事務局:図書収集の基準がある。利用者層が多様であるため、購入図書もできるだけ多様に、偏らないように考えて選書をしている。新刊案内の冊子を職員4~5人で確認し選書している。複数人が目を通すことで多様性を担保している。22万冊の蔵書の中で抜けているものはないか、重複しているものはないか管理しながら、日々選書している。また、加西市立図書館の特色も出しつつ選書している。

委員:選書基準は公開しているのか。

事務局:ホームページで公開している。

委員:館長の説明を聞き、数値があり、課題分析があり、目指す目的があり、どうしたいかの思いもある。叶えるための工夫もしている。コロナ禍でイベントを諦めている図書館もある中で、小人数ながらもイベントを数多く実施している。素晴らしいと思う。図書館中央の展示コーナーも明るくなって雰囲気はよくなった。

委員：小学校では、子ども達は朝の読書をしたり、週末に学級文庫や図書室の本を持って帰ったりしているが、学校から図書館に依頼すると必要な本を持ってきてもらえる。とても助かっている。図書館では、出前講座や本の貸出だけではなく、プログラミング教室も始められた。11月にはアステアかさいで「STEAMまつり」をされていた。図書館には、STEAMやオンライン授業等新しい本が多く置いてある。新しいものを取り入れ、古き良き本を大事にしている。また、ある記事で、「コンビニと図書館はひきこもりの人でも行きやすい。」とあった。図書館が情報発信の場であり、地域のコミュニティーの場となってどんどんよくなっていけばと思う。

委員：学校図書館も居場所づくりに役立っている。子ども達も学校で1人になることがある。そんなとき休み時間に学校図書館は行きやすい。

委員：こども園には図書館から2カ月に1回、絵本を50冊届けてもらっているが、その絵本を参考に園でも本を購入している。担任だけでは見つけることのできない本を図書館から本を届けてもらうことで発見できる。その中から子ども達がお気に入りの絵本を見つけてことができるのはいいことである。これからも続けていただきたい。

委員：会社では働きやすい職場づくりの改革を進めている。出社したら順番に座っていくフリーアドレスオフィスに変えていっている。また、椅子等も新しいものに入れ替えている。そのことで、1人1人が仕事に対するやる気を持ち、雰囲気が変わることで効率を上げていっている。図書館を利用しやすくする改革はよい取組である。

委員：市内登録率を上げるにはどうすればよいか。ということを考えてほしい。図書館協議会にはイエスマンだけを集めてはダメである。フィンランドには6千人につき1つ図書館がある。イギリスは1万2千人につき1つ図書館がある。日本は4万8千人に1つの図書館しかない。実にフィンランドの8分の1しかない。神戸も同様である。加西市も同程度である。分館構想ができないのであれば、地域ごとにブックモービルで本を運んで足のないお年寄りにも本の貸出をしてほしい。登録率をどう上げるか、そのために図書館の利用者協力も含めてどうするか、教育委員会も提案いただき、学校図書館はもちろん、70歳以上の人に図書館の良さをどうPRしていくか。考えていきたい。

委員：いろいろイベントをされているが、コロナ禍もあって定員が少ない。予約の埋まり具合は分からないが、イベント準備の手間もあるだろうし、実際はどれくらい参加されているのか。

事務局：イベントを再開した当初、参加者は少なかったが、徐々に戻りつつあり、最近は満席に近づいている。

委員：現在、子どもの感染が多いため、子どもと子どもの間に距離をとっている。

委員：新聞コーナーの奥のところでおはなし会をしてはどうか。場所を変えたら、もっと多くの子どもに参加してもらえるのではないか。

事務局：以前に展望読書コーナーで朗読会をしてもらったことがある。また、テラスでおはなし会を行うのもおもしろそうである。検討してみたい。図書館は静かに読書できる場所を提供しているので、イベントを実施する際にはそのことに配慮しながら様々な場所で行っている。図書館がみなさんの居心地のよい場所になるように努めたい。また、みなさんの興味の窓口を作りたいと考えている。

委員：自動貸出機になって、レファレンスに力を入れるとおっしゃっていたが、どのような問合せがあったのか。

事務局：特にこれといって思い浮かばないが、今まではレファレンス件数をカウントしていなかったが、するようにした。

委員：レファレンス内容をメモして、職員で内容を共有しないとレベルが上がらない。情報共有をするようにしてほしい。

事務局：今、まさにそれをしようとしている。レファレンス内容を共有することはとても大切だと思っている。来年度からはレファレンス会議をする予定である。

(2) AVコーナーリニューアル等について（伊藤主幹説明）

(3) マイナンバーカードによる図書資料の貸出について（伊藤主幹説明）

(4) その他（藤川館長説明）

・屋内型遊戯施設&テレワークセンター「アスモ」オープンについて

委員：図書館の照明が暗いのではないかと、思う箇所が何点かある。また、障害者トイレとともにジェンダートイレを作ってほしい。次に、70歳以上の方への取組、デジタル配信も含めて、メールでのレファレンスについても次回聞かせていただきたい。

事務局：図書館の照明は暗いと思う。来年度以降LED化の計画がある。照明の種類も多いので見直す予定である。

4 連絡事項

次回の会議は令和4年6月を予定している。

5 閉会 副会長が閉会のあいさつをした。

(17:00終了)